

街なかで本にまつわる世界に触れる

～富山市立図書館交流行事における出版業、書店との連携について～

富山市立図書館(富山県富山市)

URL: <http://www.library.toyama.toyama.jp>

テーマ

図書館と書店等が連携して行う特色ある読書活動・行事

取組概要

富山市立図書館では、年間を通して、図書館ならではの多彩な交流行事を開催している。その中には、著者や編集者による講演会や、出版社の方を招いてのトークイベントがある。一冊の本の周辺には著者をはじめ、出版業、書店など様々な人が関わっているが、市民に気軽にその一端に触れてもらうための行事の企画、取組を紹介する。

取組詳細

富山市立図書館本館は中心市街地に位置し、人が集い、学び、憩える街なかの情報拠点を目指している。令和5年度は、一例として次のような交流行事を開催した。

1. 著者による講演会、トークイベント

(1)「宮田珠己さん講演会 本の迷路をずんずん歩く」

宮田珠己さん(エッセイスト)と、地元フリーアナウンサーによるトークイベント。宮田さんの好きな本を会場で紹介してもらった。サイン会も実施。

(2)「黒田龍之助さん講演会 似ている外国語の学び方～ヨーロッパを中心に～」

黒田龍之助さん(言語学者)による講演会。幅広い年齢層が来場し、語学の習得方法について学んだ。サイン会も実施。

2. 編集者による講演会

「子どもが初めてであう“かがく絵本”」

福音館書店月刊誌編集部部长(肩書は当時)の石倉知直さんによる講演会。科学絵本について、作り手の立場からお話いただいた。

3. 出版社の経営者による講演会、トークイベント

(1)「勝山敏一さん講演会 小さくて多様な真実」(※富山市立婦中図書館で実施)

地元の出版社「桂書房」を経営する勝山敏一さんによる講演会。富山の文学シーンをリアルタイムで見てきた勝山さんならではの逸話、エピソードをお話いただいた。

(2)矢部華恵のブックトークレディオ ゲスト: 島田潤一郎さん

本や言葉にまつわるゲストを招き、リラックスしたムードで話を伺うラジオのようなトークイベント。

今回は、一人出版社の先駆けとして知られる「夏葉社」代表の島田潤一郎さんを招き、本を読む時間が与えてくれるものや、本の作り手として大切にしていることなどをお話いただいた。



宮田珠己さん講演会の様子



矢部華恵のブックトークレディオの様子

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所

富山県富山市西町5-1

人口

(図書館が所在する市町村)
40.7万人

職員数※(うち有資格者数) 18人(13人)

蔵書数※ 約45万冊
(※データは、富山市立図書館本館のみ)

取組の成果と今後

どの行事についても盛況であり、市民に、本にまつわる世界の一端に気軽に触れてもらう機会になった。新型コロナウイルス感染症流行の終息に伴い、令和5年度は行事の定員を設けた事前申込制をなくし、当日参加型にした。

講演会開催にあたっては、関連する資料を集めた図書展示や、登壇者への質問募集を行い、事前のPRに努めたものもある。また、行事当日に地元書店の協力によるサイン会を実施したのもあった。

今後も、気軽に立ち寄れる街なかの図書館という特性を生かし、本にまつわる世界の魅力を紹介していきたい。